

広島市感染症週報

広島市感染症対策協議会・広島市感染症情報センター

コメント

1 インフルエンザ

定点当たり26.15人の報告がありました。前週と比べて減少しましたが、多い状況が続いており、注意が必要です。また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等は29件の報告がありました。引き続き、手洗い、咳エチケット、適度な湿度の保持、換気などの感染予防対策を徹底しましょう。

迅速診断キット検査結果(市内2か所の協力医療機関による)
第9週 A型:7人、B型:220人

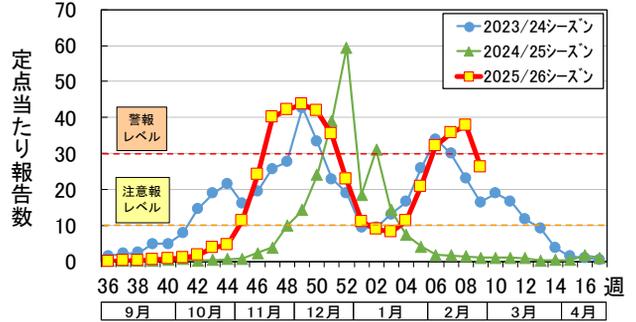
2 感染性胃腸炎

定点当たり7.81人と、前週と比べて減少しましたが、多い状況が続いています。こまめな手洗い、便・吐物の適切な処理など、感染予防対策を徹底しましょう。

3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点当たり2.19人の報告がありました。感染経路は、飛沫感染や接触感染で、2～5日の潜伏期を経て、突然の発熱、のどの痛み、毎舌などの症状が現れます。手洗い、咳エチケットなどの感染予防対策を心がけましょう。

インフルエンザの流行状況(広島市)



定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	増減	
												急増減	増減
ARI	急性呼吸器感染症(ARI)	2098	61.71			小児科	突発性発しん	2	0.10	0.14		急増減	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
	インフルエンザ	889	26.15	5.89			ヘルパンギーナ	-	-	0.06		増減	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
	新型コロナウイルス(COVID-19)	18	0.53				流行性耳下腺炎	-	-	0.02		微増減	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
小児科	RSウイルス感染症	11	0.52	0.39		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.08		横ばい	ほとんど増減なし
	咽頭結膜熱	4	0.19	0.41			流行性角結膜炎	4	0.50	0.45			
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	46	2.19	1.09		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-		報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。	
	感染性胃腸炎	164	7.81	7.64			無菌性髄膜炎	-	-	-			
	水痘	6	0.29	0.04			マイコプラズマ肺炎	2	0.33	0.17			
	手足口病	-	-	0.21			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-			
	伝染性紅斑	-	-	0.03			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	0.17	0.13			

急性呼吸器感染症(ARI) 定点数(内科・小児科)	34
小児科 定点数	21
眼科 定点数	8
基幹 定点数	6

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	20	70歳代、70歳代・市外
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	16	10歳代・O血清群不明
5	急性脳炎	1	2	10歳未満
5	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	3	40歳代
5	侵襲性肺炎球菌感染症	1	5	70歳代
5	梅毒	1	14	20歳代
5	百日咳	2	14	10歳代、30歳代

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	広島市	急性呼吸器感染症 (ARI)	インフルエンザ	(COVID-19) 新型コロナウイルス感染症	RSウイルス	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(口タウイルス)	感染性胃腸炎
		2,872	704	15	17	8	39	235	7	-	2	2	-	2	-	5	-	-	1	-	-	-
		2,963	1,091	15	14	6	44	232	4	-	1	1	-	-	-	1	-	-	4	-	-	-
		2,599	1,212	23	6	2	33	204	7	2	1	3	-	1	-	1	-	-	3	-	1	-
		2,738	1,283	22	5	7	42	223	9	-	-	5	1	-	-	5	-	-	4	-	-	-
		2,098	889	18	11	4	46	164	6	-	-	2	-	-	-	4	-	-	2	-	1	-
定点当たり	広島市	84.47	20.71	0.44	0.81	0.38	1.86	11.19	0.33	-	0.10	0.10	-	0.10	-	0.63	-	-	0.17	-	-	-
		87.15	32.09	0.44	0.67	0.29	2.10	11.05	0.19	-	0.05	0.05	-	-	-	0.13	-	-	0.67	-	-	-
		76.44	35.65	0.68	0.29	0.10	1.57	9.71	0.33	0.10	0.05	0.14	-	0.05	-	0.13	-	-	0.50	-	0.17	-
		80.53	37.74	0.65	0.24	0.33	2.00	10.62	0.43	-	-	0.24	0.05	-	-	0.63	-	-	0.67	-	-	-
		61.71	26.15	0.53	0.52	0.19	2.19	7.81	0.29	-	-	0.10	-	-	-	0.50	-	-	0.33	-	0.17	-
	全国	93.17	41.44	2.13	0.59	0.26	2.66	7.99	0.29	0.06	0.14	0.18	0.01	0.02	0.01	0.44	0.01	0.02	0.34	0.01	0.05	-
		86.46	34.54	1.83	0.56	0.28	2.87	8.02	0.33	0.05	0.13	0.20	0.01	0.02	0.01	0.42	0.03	0.03	0.24	0.02	0.06	-

■ 病原体検出状況(ARIサーベイランス)

今週からライノウイルス/エンテロウイルスを分けて掲載

感染症発生動向調査に基づくARI病原体定点医療機関からの搬入分のみ掲載

検体採取週	検査検体数	陽性検体数*	インフルエンザウイルス A H1N1pdm09	インフルエンザウイルス A H3	B型インフルエンザウイルス (ピクトリア系統)	B型インフルエンザウイルス (山形系統)	新型コロナウイルス (SARS-CoV-2)	A型RSウイルス	B型RSウイルス	ヒトメタニューモウイルス	パラインフルエンザウイルス1型	パラインフルエンザウイルス2型	パラインフルエンザウイルス3型	パラインフルエンザウイルス4型	ライノウイルス	エンテロウイルス	アデノウイルス
第4週	17	12		5	4										3		
第5週	16	10		5	4										1		
第6週	16	7			5		1								2		1
第7週	17	12		2	8		1										2
第8週	19	15			12				1						1		1

* 同一検体からの複数ウイルス検出例を含む(検査:広島市衛生研究所)

詳しくはホームページで [広島市 病原体](#)

【参考】海外に行く場合は、感染症予防も忘れずに！

春休みを利用して海外へ渡航される方が増えることが予想されます。海外では、日本で感染しないような感染症にかかることがあります。安全で快適に旅行し、帰国できるよう、感染症予防を心がけましょう。

◆ 渡航前には

渡航先で流行している感染症の情報を事前に入手し、注意すべき事柄を確認しましょう。

◆ 帰国時・帰宅後に体調が悪くなったら

空港や港に設置されている検疫所では、渡航者の健康相談を行っています。帰国時に発熱や下痢、具合が悪いなど体調に不安がある場合は、他の人への感染を予防するためにも検疫官に相談しましょう。

また、感染症には潜伏期間が長いものもあり、帰国後しばらくしてから具合が悪くなる場合があります。その場合は速やかに医療機関を受診し、渡航先、滞在期間などの情報を伝えましょう。ただし、エボラ出血熱や中東呼吸器症候群などが疑われる場合は、受診する前に最寄りの保健センターにご相談ください。

【詳しくはこちらをご覧ください】

海外に行く場合は、感染症予防も忘れずに！(広島市)

<https://www.city.hiroshima.lg.jp/living/medical/1021213/1027974/1022982.html>



海外へ渡航される皆さまへ！(厚生労働省検疫所)

https://www.forth.go.jp/news/20220722_00001.html

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/living/eisei/1003071/index.html>



【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp